

トランシィ

四日市に新倉庫

量販店物流を効率化

日本トランスシティ

町。自社の敷地約二万平方

(本社・三重県四日市市、

方畝の一画に建設。従来

中。

業効率化を目指す。

小川謙社長)は平成二十

野積み倉庫として活用し

主力荷主である大手量

前の生鮮食品物流専用の

四年七月、四日市内に

ていた土地に新設する。

販店のアジアからの輸入

クロスドックセンター

新倉庫をオープンする。

新倉庫は鉄骨造り二階建

物流基地として活用。国

(三重県松阪市)以来。

大手量販店の輸入消費財

で、倉庫面積九千二百

際一貫物流の主要拠点と

(谷 篤)

の物流機能を担い、作業

平方畝。ひさし部分が千

なる。これまで分散して

の効率化につなげる。

六百平方畝。建設費は約

いた機能を新倉庫に集約

住所は四日市市河原田

十億円。同じ敷地内では

させることで、一層の作